

ショコラ班紹介

生活支援員 光森 勇人

ショコラ班は、利用者数8名、職員数5名の班で、知的障害を伴った自閉症の方々が、日々の情緒安定やADL向上を目指して活動しています。また、利用者・配属職員の平均年齢も若く、若さを活かし何事にも全力で取り組んでいます。

班の大きな目標として、『チャレンジ』という言葉に常に考えながら、活動内容やレクリエーション、外出など充実したものとしています。チャレンジする為にも、アセスメントを密に行う事で利用者一人一人の事を知り、その人にあった活動・外出の提供を行っています。

今年もショコラ班全員で、様々な事にチャレンジし新たな自分の発見・成長を職員共々行っていきたくと思います。

温泉前でハイチーズ！！



カナッペ作りに挑戦♪



カナッペの塔完成！！



美味しく頂きました☆



パイヤ班紹介

生活支援員 山口 美咲

パイヤ班は、園芸や制作、レクリエーションを中心に活動に取り組んでいます。

中でも、特に力を入れている園芸では昨年度から未開拓であった畑の土を耕す、石や雑草、木の枝などを取り除くところからスタートし、とても地道で体力を必要とする作業ですが、利用者の方全員が自分の得意とすることを活かし、一生懸命取り組まれていました。その畑には、利用者の方と職員で何を植えるのか話し合い、季節の野菜を植えています。夏はピーマンやミニトマト、オクラなど…冬は大根、チンゲン菜など旬の野菜を苗植えから収穫まで行いました。野菜のことが気になるのか「水やりは？」と毎日のように確認される方もいらっしゃり、仕事の責任感や野菜への愛情など感じられました。

収穫した野菜はレクリエーションの時間に野菜の旨みを最後まで楽しめる鍋やピザ、サラダなど様々な料理に挑戦！自分たちで作った野菜を自分たちで食べる喜びや達成感、満足感など楽しく作って、おいしく味わって頂くことで感じていただけたのではないかと思います。

利用者のご家族から、「園芸に携わるようになってから、苦手だった野菜を自分から食べるようになった」という話を聞かせていただきました。そうした利用者の方の変化の可能性にも目を向け、今年度も利用者の方々の『やりたい、やってみたい』という気持ちを大切に、楽しい活動になるように職員ともども頑張っていきたいと思っています。

除草頑張ってます！



大根できた！



採れたよお～♪



こんなに獲れました!!!



エデンの園作品展示会

生活支援員 上原 卓也

2月20日に「エデンの園作品展示会」を開催しました。

1年間各活動班やクラブ活動で作った、習字や絵画、写真、陶芸作品など数多く作品が集まりました。また、エデンの園設立時から現在までの写真をムービーにし上映しました。たくさんのご家族に来ていただき、「上手だね。」「こんな才能もあるんですね。」「がんばってるね」など感動されているようでした。利用者の方々もご家族からのお褒めの言葉を頂き自信にも繋がったのではないのでしょうか。



1年間の写真



習字・絵画・陶芸など

光の家実習を終えて

生活支援員 谷口 博考

2月22日(月)から2月26日(金)の5日間、東京光の家へ研修に行かせていただきました。不安と緊張の中、初めての東京での研修にのぞみましたが、利用者みなさん、職員の皆さん共に優しく受け止めて下さり、様々な多くのことを学ぶ事ができました。特に、作業訓練・生活支援の方法やその支援のあり方、視点に驚くとともに日頃の自分「支援」について反省することが多々ありました。

今までの自分の職務に対する考えや想いでは、より良い支援サービスを提供できないことに気づかされた5日間でした。

エデンの園に入職して6年目の春を迎えます。生活支援員としても、一個人の人間としても大きく成長するためにも利用者の皆さんと多く関わり様々なものを学びそれを、社会福祉学と結びつけより良い支援サービスが提供できるようにします。5日間の研修ありがとうございました。

デザートバイキング

生活支援員 五島 千恵子

「食後のお楽しみ?」いつもなら脇役ともいえるスイーツが今日は主役!そう今日は1年の締めくくりの行事食「デザートバイキング」いちご、ピーチ、チョコレート…色とりどりのプチケーキのお花畑をみんなで眺める一時。

「私は赤いストロベリー、ピンクのピーチ、いやいや、日本人はやっぱり抹茶がいいねえ…」など真剣に選びながら、会話も弾んでいました。そういえば、大好きなスイーツを食べる時、『幸せホルモン』と呼ばれるものが出るとか…。甘い香り漂うエデンの園食堂は、クイズ大会、マジックショー、ダンス披露も加わり、笑顔と笑い声に包まれていました。

